

## 資料 12 「地域協働研究」 1年間の学びの流れ

## 「地域協働研究」1年間の学びの流れ

学期	週	実施内容	指導体制
第1学期	1週目	<b>オリエンテーション</b> ・到達目標・学習内容の理解	学年定員60名を6クラスに配置し、1クラス10名を2名の教員で指導する。
	2週目～4週目	<b>論文作成技法の指導</b> ・文献検索 ・論文の読み方・書き方	
	5週目	<b>個別面接指導(履修指導等)</b>	
	6週目～14週目	<b>中間レポート作成の指導</b> <b>ゼミ形式のディスカッションや個別指導を通じて次のことを行う。</b> ・テーマに関する理解を深める。 ・情報収集、報告 ・構成案検討 ・論点整理 ・ <b>中間レポートの完成と報告</b>	
	15週目	<b>個別面接指導(履修指導等)</b>	
第2学期	16週目	<b>オリエンテーション</b> 学年研究論文テーマ理解	
	17週目～19週目	<b>論文作成技法の指導</b> ・情報整理 ・考察	
	20週目	<b>個別面接指導(履修指導等)</b>	
	21週目～29週目	<b>学年研究論文作成の指導</b> <b>ゼミ形式のディスカッションや個別指導を通じて次のことを行う。</b> ・テーマに関する理解を深める。 ・情報収集、報告 ・構成案検討 ・論点整理 ・ <b>学年研究論文の完成と報告</b>	
	30週目	<b>個別面接指導(履修指導等)</b>	

※「地域協働研究」では、教員がテーマを設定する「中間レポート(1学期)」及び全実習を踏まえて、学生が個人テーマを設定し作成する「学年研究論文(2学期)」をまとめる。

(参考)論文と共通テーマ

科目名	論文名	論文の共通テーマ	関連実習等科目
地域協働研究Ⅰ	中間レポート	地域の人から学んだこと	課題探究実践セミナー
	学年研究論文	地域課題の分析を通じた地域理解	// 及び地域理解実習
地域協働研究Ⅱ	中間レポート	地域の資源の関係性を考える	地域協働企画立案実習
	学年研究論文	地域協働における企画立案の手法と意義	// 及び事業企画プロジェクト実習
地域協働研究Ⅲ	中間レポート	協働実践の社会的意義とは何か	地域協働マネジメント演習
	学年研究論文	実践に求められる協働の理論	// 及び教えるプロジェクト実習

資料 13 地域協働学部における「基礎的専門知識」  
の修得イメージ

# 地域協働学部における「基礎的専門知識」の修得イメージ

## 基礎的専門知識

本学部における「基礎的専門知識」は、①2年次以降の実習・演習等に必要となる基礎的知識及び技法、②2年次以降の専門知識を修得する講義科目を学ぶために必要な基礎的専門知識である。  
「基礎的専門知識を修得した上で、協働性と専門性の両立を図る」という観点から、基本的に1年次第2学期まで（一部科目2年次まで）に以下の科目を履修させ、「基礎的専門知識」を修得させることとしている。

### 基礎的専門知識を修得させる科目

実習等に必要となる  
基礎的知識・技法

#### 共通専門科目7科目

- 地域理解のための技法を修得  
「社会調査論」、「社会調査方法論」
- 実習に必要な基礎的知識及び技法を修得  
「企画立案事業計画基礎演習」、「非営利組織経営基礎演習」、「商品開発基礎演習」、「ファシリテーション演習」、「チームワークを考える」

専門知識の基礎

総合科目「地域協働論」(1年次第1学期)必修  
学部の学びの全体像を理解し、基盤となる総合的な基礎知識を身に付ける

地域協働マネジメント分野

総合科目「地域組織論」(1年次第2学期)必修  
地域協働マネジメント分野の基礎知識を身に付ける

地域産業分野

総合科目「産業論」(1年次第1学期)必修  
地域産業分野の基礎知識を身に付ける

地域生活分野

総合科目「地域社会学概論」(1年次第1学期)必修  
地域生活分野の基礎知識を身に付ける

## 資料 14 共通教育科目の構成及び授業形態

## 共通教育科目の構成及び授業形態

Structure and Class Forms of General Education Subjects

**共通教育科目**  
General Education Subjects  
52単位

**初年次科目**  
First-Year (Freshman) Subjects  
12単位(必修)  
※人文学部は10単位必修

**教養科目**  
Liberal Arts and Science Subjects 22単位

**共通専門科目**  
Common Major Subjects 18単位

**学びの転換・キャリア形成**  
Transformation of Learning・Career Formation

**基礎的スキル**  
Basic Skills

**学問への動機付け**  
Motivation for Scholastics

## 教育課程・授業科目区分関連図

Educational Subject Categories

学部 Faculties				大学院 Graduate Schools	
1年	2年	3年	4年	修士 Master's Course	博士 Doctoral Course
初年次科目 First-Year Subjects					
教養科目 Liberal Arts and Science Subjects					
共通専門科目 Common Major Subjects		専門科目 Major Subjects			
				大学院授業科目 Graduate School Subjects	



授業風景

はじめに

組織・役員等

学部・大学院

学内共同教育  
研究施設等

教職員・学生

国際交流

地域連携

財務

キャンパス

## 大学基礎論 Introduction to University Learning

### 到達目標・教育方法

- 「教わる」から「学びとる」への学びの姿勢の転換を図る。
- 卒業後の自分の将来像についての意識付けを図り、卒業時に自分がどうなっていたいか、どのような能力を身につけるべきかを考える。
- 社会における大学や学問の位置づけや高知大学の存在意義についての理解を深める。
- Transform approaches in learning from teacher-orientated to student-orientated instruction
- Help students envisage their employability for their future careers and what abilities they need to acquire by the time they graduate
- Help students to raise their understanding of the significance of universities and academe especially with regard to Kochi University

## 課題探求実践セミナー Task-Based Practical Seminar

### 到達目標・教育方法

- 学生の能動的・主体的な学習を促進・展開する。
- 互いの意見の相違や異なるものの見方を理解することを通じて、現在の自分を知り、自己の課題を見出す。
- 少人数グループワークによるコミュニケーションの意義や方法を理解する。
- Promote and develop students' initiative and self-motivated learning
- Help students understand differences of opinion and viewpoints, to know themselves, and find their own space for improvement
- Help them understand the significance and method of learning through communication in small groups

## 大学英語入門 First-Year (Freshman) English

### 英会話 English Speaking Skills

### 到達目標・教育方法

- プレースメントテストによる習熟度別クラス編成
- 大学生に相応しい実践的英語力と自発的・持続的に英語学習に取り組むことのできる自律的英語学習能力の修得や、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重することのできる国際共生力を身につけるための基礎的な知識や能力を養う。
- 外国人講師による実践的授業の実施（「英会話」）
- Students are streamed into classes with students of similar ability based on the results of a placement test
- Help them learn practical English skills at a level appropriate for university students; motivate them to acquire throughout their academic career the capacity to learn independently; stimulate their interest in language and culture; and help them to gain and develop the basic knowhow; and develop awareness necessary for cross-cultural understanding and international coexistence
- Provide English language classes taught by native speakers (i. e. English conversation classes)

## 情報処理 Information Processing

### 到達目標・教育方法

- 「情報リテラシー」及び「情報」の概念の修得
- Help students gain the necessary abilities to handle information, i. e. to acquire "information Literacy"

## 学問基礎論 Introduction to Scholastics

### 到達目標・教育方法

- 専門教育に向けての導入教育
- 専門教育(学問)に対する学びの展望を持たせ、学生のモチベーション向上を図る。
- 学部・学科へのアイデンティティを養う。
- 授業の振り返り(要約)やプレゼンテーションを通じて日本語技法の習得を図る。
- Provide introductory instruction to help students prepare for specialized education
- Motivate students for acquiring and developing a prospective view of specialized education
- Help them as students to develop a particular identity appropriate for each faculty and department
- Help them to develop proficiency in Japanese language skills through oral presentations and class summary reports

## 人文分野 Humanities

## 社会分野 Social Science

## 生命・医療分野 Life and Medical Science

## 自然分野 Natural Science

## 外国語分野 Foreign Languages

## 基礎科目 Introductory Subjects

## キャリア形成支援科目 Career Training and Development Subjects



はじめに

組織・役員等

学部・大学院

学内共同教育  
研究施設等

教職員・学生

国際交流

地域連携

財務

キャンパス

## 資料 15 海外特別演習 集中講義モデル



## 海外特別演習 集中講義モデル

実施場所：イタリア・サッサリ大学（大学間協定校）定員6名

テーマ：「イタリア地方都市における地域資源の活用の現状と課題」

### 第1回

〔学内〕授業の概要説明、海外渡航に関する諸注意。

### 第2回

〔現地〕関西国際空港発、ローマ・フィウチミーノ空港経由、アルゲーロ空港到着、サッサリ大学建築デザイン都市計画学科において、パオラ・リッツィ教授（高知大学客員教授）と本学教員によるオリエンテーション。

学生は、各自で関西国際空港に集合する。担当教員は、学生を引率して研修現場で学生の活動を観察するとともに安全管理を行う。宿泊は大学提供の宿舎（有料）。渡航費用及び宿泊費用は学生負担。現地での移動は、サッサリ大学より提供される交通手段を利用する。

### 第3回

〔現地〕パオラ・リッツィ教授によるアルゲーロ市 (Alghero) の概要、歴史的背景などについての講義

### 第4回・第5回

〔現地〕パオラ・リッツィ教授の案内によるアルゲーロ市の歴史的地区の見学（テーマ：伝統的建造物の維持と観光産業）

### 第6回・第7回

〔現地〕ティツィアナ・コレッドウ氏（建築士）の案内によるブドウ農園及びワイン工場 (Cantina Santa Maria La Palma) において研修（テーマ：農産品加工と高付加価値化）

### 第8回

〔現地〕パオラ・リッツィ教授及び本学部専任教員による振り返りワークショ

## ップの実施

### 第9回・第10回

〔現地〕パオラ・リッツィ教授によるゲーミング・シミュレーションの講義及びワークショップ（テーマ：イタリアにおける地域防災の現状と課題）

### 第11回・第12回

〔現地〕マルコ・マロンジウ氏（サッサリ大学職員）の案内によるオルツァイ（Olzai）地区の見学（テーマ：伝統的な地域資源を活かした地域再生）、伝統的景観の保存、地域特産品を活用した農家レストランの運営

### 第13回

〔現地〕パオラ・リッツィ教授及び本学部専任教員による振り返りワークショップの実施

### 第14回

〔現地〕パオラ・リッツィ教授及びサッサリ大学学生を交えた意見交換会、終了後、アルゲーロ空港発、ローマ・フィウチミーノ空港経由、関西国際空港到着

### 第15回

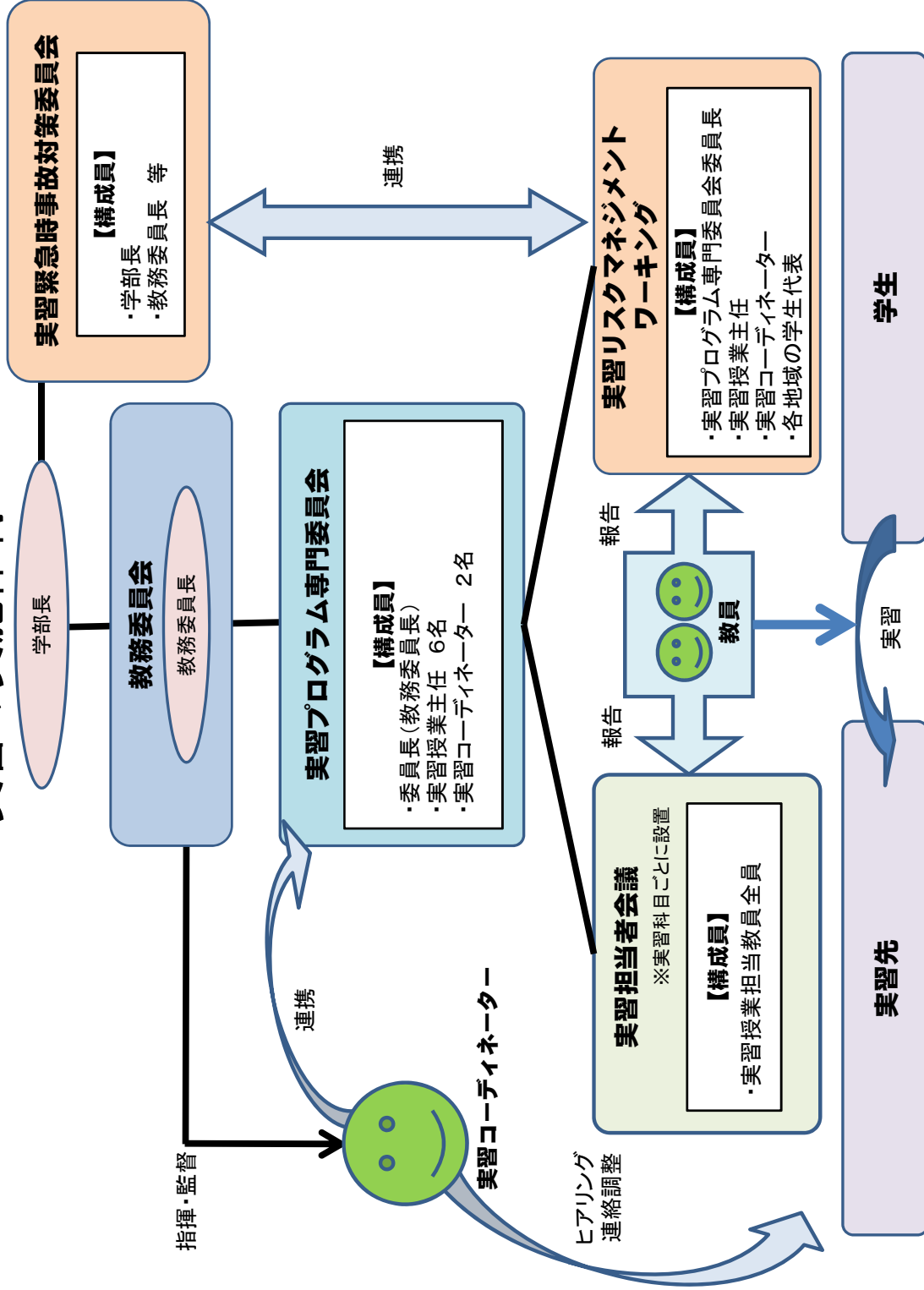
〔学内〕報告会の実施

## ◇安全及び危機管理体制について【資料 安全及び危機管理体制】

本学部の安全及び危機管理体制の下に海外特別演習を実施する。協定校及び協定校教員等指導者との協議によって現地の状況に適合した「安全・危機管理マニュアル」を策定して責任の所在を明確にする。

## 資料 16 実習の実施体制

# 実習の実施体制



# 実習の安全及び危機管理



## 資料 17 地域協働学部専任教員（分野別）一覽

## 地域協働学部専任教員(分野別)一覧

経済学・経営学			
職種	人数	氏名	担当予定専門講義科目
教授	4	池田 啓実	組織学習論
		上田 健作	非営利組織マネジメント論
		大石 達良	国際ビジネス展開論
		鈴木 啓之	行財政論
准教授	2	石筒 覚	地域産業政策論
		中澤 純治	産業論
講師	3	今城 逸雄	中心市街地活性化論
		須藤 順	コミュニティ振興論
		俣野 秀典	ナレッジマネジメント論
社会学・社会福祉学			
職種	人数	氏名	担当予定専門講義科目
教授	1	玉里 恵美子	地域福祉論
准教授	2	大槻 知史	ソーシャルキャピタル論
		湊 邦生	比較地域社会論
教育学			
職種	人数	氏名	担当予定専門講義科目
教授	1	内田 純一	地域組織論
助教	1	齋藤 雅洋	社会教育論
農学			
職種	人数	氏名	担当予定専門講義科目
教授	2	受田 浩之	フードビジネス論
		市川 昌広	地域資源管理論
准教授	1	霜浦 森平	六次産業化論
環境デザイン・環境システム学			
職種	人数	氏名	担当予定専門講義科目
准教授	1	松本 明	地域計画論
講師	1	藤岡 正樹	地域防災論
美術			
職種	人数	氏名	担当予定専門講義科目
准教授	1	吉岡 一洋	地域デザイン論
スポーツ			
職種	人数	氏名	担当予定専門講義科目
教授	1	辻田 宏	地域スポーツ振興論
准教授	1	中村 哲也	地域スポーツ社会学

※松本 明はH28.4.1着任。

## 資料 18 定年年齢に関する学内規程



## 国立大学法人高知大学職員の定年規則

平成16年4月1日  
規則第24号

最終改正 平成26年3月26日規則第101号

(目的)

第1条 この規則は、国立大学法人高知大学職員就業規則（以下「就業規則」という。）第19条に基づき、職員の定年について、必要な事項を定める。

(定年)

第2条 職員の定年は、次の各号に定める年齢とする。

- (1) 大学教員 満65歳
- (2) 用務員、守衛等専ら労務に従事する職員 満63歳
- (3) 前2号に掲げる以外の職員 満60歳

2 定年による退職の日は、定年に達した日以後における最初の3月31日とする。

3 前2項の規定は、雇用の期間を定めて雇用された職員には適用しない。

(定年扱いの退職)

第3条 前条第1項第1号の規定にかかわらず、高知大学に在職していた大学教員から引き続き国立大学法人高知大学の教員となった者のうち、この規則の施行日の前日に高知大学教員定年規則において定年年齢が満63歳と規定されていた大学教員は、次条に定めるところにより、満63歳に達した日以後における最初の3月31日で退職することができる。

2 前項の規定による退職は、就業規則第17条第1項第2号に定める定年による退職として取り扱う。

(定年扱いの退職の手続)

第4条 前条に定める定年扱いの退職を希望する者は、文書をもって学長にその旨を申し出るものとする。

2 前項の申出があったときは、学長はこれを承認し、本人へ通知する。

3 前項の通知を受けた後は、これを変更することはできない。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成 19 年 3 月 31 日に国立大学法人高知大学の教務職員であった者が、平成 19 年 4 月 1 日に助手となった場合の定年年齢については、第 2 条第 1 項第 1 号の規定にかかわらず、満 60 歳とする。

附 則（平成 19 年 3 月 12 日規則第 96 号）

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 26 年 3 月 26 日規則第 101 号）

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

# 国立大学法人高知大学における教員の任期に関する規則

平成16年4月1日  
規則第50号

最終改正 平成26年3月31日規則第114号

(趣旨)

第1条 この規則は、大学の教員等の任期に関する法律(平成9年法律第82号。以下「法」という。)第5条第2項の規定に基づき、高知大学における教員の任期に関し必要な事項を定める。

(任期を定めて採用等する教員の職等)

第2条 法第5条第1項の規定に基づき、任期を定めて採用等する教員の任期は、次に掲げるとおりとする。ただし、外国人講師を除く。

- (1) 法第4条第1項第1号に基づき、任期を定めて採用等する教員は、別表1に定めるとおりとする。
- (2) 法第4条第1項第2号に基づき、任期を定めて採用等する教員は、別表2に定めるとおりとする。
- (3) 法第4条第1項第3号に基づき、任期を定めて採用等する教員は、別表3に定めるとおりとする。

(採用等される者の同意)

第3条 任期を定めて採用等する場合には、別紙様式により、当該採用等される者の同意を得なければならない。

(業績審査)

第4条 教員を再任しようとする場合、その可否は、当該教員の任期中の業績審査に基づき、教授会等又は教育研究評議会の審議を経て、学長が行う。

2 前項の業績審査は、次の各号に掲げる事項について行うものとし、その審査の方法、項目等審査のために必要な事項については、教授会等又は教育研究評議会の審議を経て学長が別に定める。

- (1) 教育活動に関する事項
- (2) 研究活動に関する事項
- (3) 診療活動に関する事項
- (4) 本学の管理運営、社会への貢献等に関する事項

(規則の公表)

第5条 この規則を制定又は改正したときは、学内外に対し広く周知を図るものとする。

(退職制限の排除)

第6条 第2条の規定により定められた任期については、教員が当該任期中にその意思により退職することを妨げるものではない。

(定年との関係)

第7条 国立大学法人高知大学職員の定年規則（平成16年規則第24号）の規定による定年は、この規則の規定による任期に優先して適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日に高知大学における教員の任期に関する規則に基づき任期を定めて任用されていた者については、この規則により任期を定めて採用等された教員とみなす。
- 3 前項により任期付き教員として採用等された者の任期は、別表の規定にかかわらず旧任期付き任用者としての任期の残任期間と同一の期間とする。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成17年11月18日から施行する。
- 2 第2条第3号別表3の国際・地域連携センターの規定は、平成17年4月1日から採用される者について適用する。
- 3 第2条第3号別表3の海洋コア総合研究センターの規定は、平成17年10月1日から採用される者について適用する。
- 4 第2条第1号別表1の理学部の規定は、平成18年4月1日以降に採用される者について適用する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年7月12日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成 18 年 12 月 11 日から施行する。
- 2 第 2 条第 1 号別表 1 の総合情報センター（図書館）の規定は、平成 19 年 1 月 1 日以降に採用される者について適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 2 条第 1 号別表 1 に掲げる教員であって、この規則の施行日の前日に助教授又は助手の職にあった者については、この規則により准教授又は助教として、任期を定めて採用等された教員とみなす。
- 3 前項により任期を定めて採用等された教員の任期は、別表 1 の規定にかかわらず、この規則の施行日の前日に適用を受けていた教員の任期に関する規則による任期の残任期間と同一の期間とする。
- 4 第 2 項に掲げる者からこの規則の施行日以前に提出された同意書については、なお効力を有するものとする。

附 則（平成 22 年 3 月 31 日規則第 118 号）

- 1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 2 条第 1 号別表 1 の規定は、この規則の施行日の前日に在職する者にあつては、改正前の国立大学法人高知大学における教員の任期に関する規則（以下「任期に関する規則」という。）に基づき任期を定めて採用等された者以外のものには適用しない。
- 3 第 2 条第 1 号別表 1 に掲げる教員であつて、改正前の任期に関する規則に基づき任期を定めて採用等された者については、この規則により任期を定めて採用等された教員とみなす。
- 4 前項により任期を定めて採用等された教員の任期は、第 2 条第 1 号別表 1 の規定にかかわらず、この規則の施行日の前日に適用を受けていた任期に関する規則による任期の残任期間と同一の期間とする。
- 5 第 3 項に掲げる者からこの規則の施行日以前に提出された同意書については、なお効力を有するものとする。

附 則（平成 26 年 3 月 31 日規則第 114 号）

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

別表1（第2条第1号関係）

教育研究組織の名称		職名	任期	再任に関する事項
自然科学系	理学部門（理学部専任担当及び総合情報センター（図書館）専任担当のものに限る。）	助教	5年	再任可
医療学系	基礎医学部門（医学部専任担当のものに限る。）	教授 准教授 講師 助教	10年 5年 5年 5年	再任可
	連携医学部門（医学部専任担当のものに限る。）			
	臨床医学部門（医学部専任担当のものに限る。）			
	医学教育部門（医学部専任担当のものに限る。）			
看護学部門（医学部専任担当のものに限る。）				
総合科学系	複合領域科学部門（理学部専任担当のものに限る。）	助教	5年	再任可

別表2（第2条第2号関係）

該当なし

別表3（第2条第3号関係）

教育研究組織の名称		職名	任期	再任に関する事項
部局等名	学科、講座、研究部門等			
地域連携推進センター	学長裁量プロジェクト	教授	2年	再任なし
国際連携推進センター	学長裁量プロジェクト	教授	2年	再任なし
海洋コア総合研究センター	学長裁量プロジェクト	教授	5年	再任なし

別紙様式(第3条関係)

同 意 書

平成 年 月 日

国立大学法人高知大学長 殿

氏 名 印(自署)

私は、国立大学法人高知大学〇〇〇〇に就任するに際し、大学の教員等の任期に関する法律(平成9年法律第82号)第5条第2項及び国立大学法人高知大学における教員の任期に関する規則(平成16年4月1日施行)第2条の規定に基づき、下記のとおり任期により採用等されることに同意します。

記

平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

注：〇〇〇〇の箇所には、教育研究組織及び職を記入すること。規則第2条第3号の規定により採用する場合は、〇〇〇〇の後に括弧を付して計画の名称を付すものとする。

## 資料 19 地域協働学部カリキュラムマップ

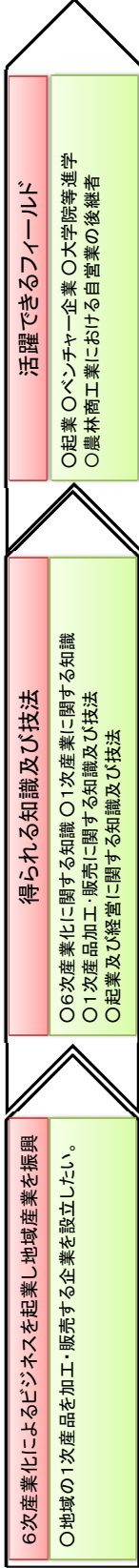


# 地域協働学部カリキュラムマップ

4年	3年	2年	1年	地域協働実践・卒業研究				
<p>人文・社会・生命・医療・自然の4分野から幅広く選んで地域に関する幅広い知識を身に付ける。</p> <p>22単位のうち4単位以上を本学が指定する「地域関連科目」(COC科目)から履修</p>	<p>大学英語入門 学問基礎論 大学基礎論 英会話 情報処理</p> <p>大学・学部での学びの基礎(初年次科目) (教養科目)</p>	<p>フアンリテラション演習 (共通専門科目) チームワークを考える (共通専門科目) 商品開発基礎演習 (共通専門科目)</p> <p><b>基礎的専門知識</b></p> <p>社会調査実習 (共通専門科目) 質的調査法 (共通専門科目) 多変量解析 (共通専門科目)</p> <p>統計解析の基礎 (共通専門科目) 社会調査方法論 (共通専門科目) 社会調査論 (共通専門科目)</p> <p>地域理解・分析の技法を知識及び修得する科目</p>	<p>金融・税務実務講座 起業・経営実務講座 環境特許処理 行政実務講座 ナレッジマネジメント論 社会教育論 地域協働マネジメント演習Ⅰ (総合科目) 地域協働マネジメント演習Ⅱ (総合科目) 協働実践のための科目</p> <p>地域資源管理論 行財政論 地域計画論 組織学習論 非営利組織マネジメント論 会計学概論 プロジェクトマネジメント演習 (総合科目)</p> <p>協働の社会的在り方、意義、協働の組織化の方法を修得する科目</p> <p>地域組織論 (総合科目) 地域協働論 (総合科目)</p> <p>協働理解の基礎を修得する科目</p>	<p>森林経営学 食品生化学 中心市街地活性化論 地域産業園地論 国際農林水産物市場論 国際ビジネス展開論</p> <p>地域産業に関する、各論的な科目</p> <p>農業振興論 地域産業政策論 六次産業化論 フードビジネス論 地域デザイン論</p> <p>地域の産業振興・政策に関する基本的・具体的な知識と視点及び技法を修得する科目</p>	<p>家庭経営学 環境文化論 非常規組織論 地域防災論 ソーシャルキャピタル論 比較地域社会学</p> <p>地域社会学概論 (総合科目) 地域社会学概論 (総合科目)</p> <p>生活振興・政策理解の基礎を修得する科目</p>	<p>教えるプロジェクト実習 地域協働マネジメント実習</p> <p>地域理解実習 課題探求実践セミナー (初年次科目)</p> <p>【地域協働マネジメントカリ】の基礎を形成とコンピテンシーを身に付ける科目</p> <p>地域協働マネジメント実習 地域協働企画立案実習</p>	<p>地域協働研究Ⅲ</p> <p>地域協働研究Ⅱ</p> <p>地域協働研究Ⅰ</p> <p>消費科目</p> <p>実践科目</p> <p>地域生活分野</p> <p>地域産業分野</p> <p>地域協働マネジメント分野</p> <p>実習で用いる知識・技法</p>	<p>身に付けた知識・技法と実践の中で開発された諸能力を「知」として統合する科目</p> <p>知識・技法と実践の統合</p> <p>協働実践</p> <p>専門知識・技法の修得</p>

## 資料 20 育成する人材像ごとの履修モデル

《6次産業化人(アントレプレナー;起業家) 能力・知識及び技法・卒業後のフィールド 【一般履修モデル】



卒業要件単位数:124単位  
 専門教育科目(専門必修科目:48単位、専門選択科目:24単位、合計:72単位以上修得)  
 共通教育科目(初年次科目:12単位、教養科目:22単位、共通専門科目:18単位、合計:52単位以上修得) (履修モデル上の必修科目を含む)

専 門 科 目	1年次		2年次		3年次		4年次		単 位 合 計
	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	
専 門 必 修 科 目	地域協働研究Ⅰ④	地域協働研究Ⅰ④	地域協働研究Ⅱ④	地域協働研究Ⅲ④	地域協働研究Ⅲ④	地域協働実践・卒業研究④	地域協働実践・卒業研究④	地域協働実践・卒業研究④	48単位
	産業論②	地域理解実習④	事業企画立案実習④	実習④	教えるプロジェクト実習④				
	地域社会学概論②	地域相輪論②	プロジェクトマネジメント実習②	地域協働マネジメント演習Ⅰ①	地域協働マネジメント演習Ⅱ①				
	10単位	6単位	8単位	6単位	10単位	4単位	4単位	0単位	
専 門 選 択 科 目	【履修の考え方】 一次資源を活用した6次産業化による起業・経営に必要な基礎的知識・一次資源を取り巻く社会的・本格的・革新的知識・一次資源を理解するための基本的知識・6次産業化に必要な一次資源を理解するための基本的知識を修得する。	社会起業論②(GOC科目)	地域デザイン概論②	会計学概論②	ナレッジマネジメント論②	起業・経営実務講座②	食品生化学②	国際農林水産物市場論②	24単位
	【履修の考え方】 6次産業化にかかわる起業として、一次資源と環境・生活及び起業に関する内容を含まず、起業に必要な基礎的専門知識を中心に履修する。	社会学入門②	環境社会学②	六次産業化論②	森林経営学②				
	【履修の考え方】 6次産業化にかかわる起業として、一次資源と環境・生活及び起業に関する内容を含まず、起業に必要な基礎的専門知識を中心に履修する。	社会学入門②	社会学入門②	社会学入門②	社会学入門②				
	【履修の考え方】 6次産業化にかかわる起業として、一次資源と環境・生活及び起業に関する内容を含まず、起業に必要な基礎的専門知識を中心に履修する。	社会学入門②	社会学入門②	社会学入門②	社会学入門②				
共 通 教 育 科 目	8単位	8単位	4単位	4単位	4単位	4単位	0単位	0単位	22単位
	22単位	22単位	20単位	22単位	18単位	8単位	8単位	2単位	124単位
	1学期履修単位数	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	0単位	0単位	18単位
	初年次科目	8単位	8単位	4単位	4単位	4単位	4単位	0単位	22単位

演習科目
実習科目
総合科目

専門科目 地域協働マネジメント分野
専門科目 地域産業分野
専門科目 地域生活分野

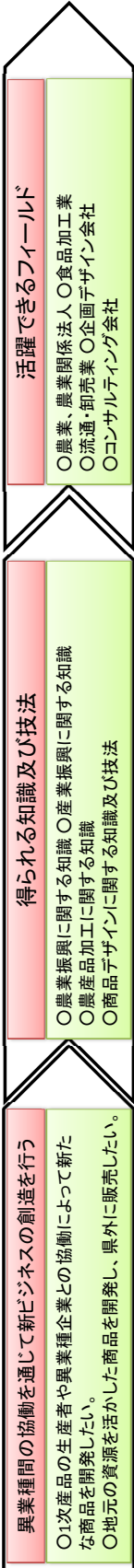
共通専門科目
CBIプログラム科目

教養科目
------

初年次科目
-------

4市町村(高知市、黒潮町、大豊町、佐川町)においてサード・スロー・ツーリング及び住民、後継者等の意見交換を行う。	4市町村(高知市、黒潮町、大豊町、佐川町)においてサード・スロー・ツーリング及び住民、後継者等の意見交換を行う。	地域の特色理解を目的としたサービスラーニング及び関係者へのヒーリングを行う。本人材制に中心のある学生向けに、実習先を6か所準備。	MAPROK 地元花甲類産産家と協働して「ハネモノ」の存在を「フライドフラワー」に加工・販売すること で地域圏芸農業の振興と障害者が働く場の確保を進めるベンチャー企業である。
--	--	--	---

《産業の地域協働リーダー》能力・知識及び技法・卒業後のフィールド 【一般履修モデル】



卒業要件単位数:124単位

専門必修科目:48単位、専門選択科目:24単位、合計:72単位以上(修得)

赤字は、必修科目 (履修モデル上の必修科目を含む)

共通教育科目 (初年次科目:12単位、教養科目:22単位、共通専門科目:18単位、合計:52単位以上(修得))

年次	1年次				2年次				3年次				4年次				単位合計
	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期			
専門科目	地域協働研究Ⅰ④	地域協働研究Ⅱ④	地域協働研究Ⅲ④	地域協働研究Ⅳ④	地域協働研究Ⅰ④	地域協働研究Ⅱ④	地域協働研究Ⅲ④	地域協働研究Ⅳ④	地域協働実践・卒業研究④	地域協働実践・卒業研究④	地域協働実践・卒業研究④	地域協働実践・卒業研究④	地域協働実践・卒業研究④	地域協働実践・卒業研究④	48単位		
	産業論②	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	48単位		
	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	48単位		
	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	48単位		
	10単位	6単位	8単位	6単位	8単位	6単位	10単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	48単位		
	0単位	0単位	2単位	2単位	0単位	0単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	24単位		
	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	18単位		
共通教育科目	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	22単位		
	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	社会調査方法論②	22単位		
	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	22単位		
	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	社会起業論②(COC科目)	22単位		
	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	流と波の災害②(COC科目)	22単位		
	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	企業経営を考える②	22単位		
	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	自然環境と人間②	22単位		
大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	22単位			
課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	課題探求実践セミナー②	22単位			
英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	英会話②	22単位			
情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	情報処理②	22単位			
8単位	8単位	8単位	8単位	8単位	8単位	8単位	8単位	8単位	8単位	8単位	8単位	8単位	8単位	22単位			
22単位	22単位	22単位	22単位	22単位	22単位	22単位	22単位	22単位	22単位	22単位	22単位	22単位	22単位	124単位			
1学期履修単位数																	

専門科目	専門必修科目 地域協働マネジメント分野 専門科目 地域産業分野 専門科目 地域生活分野
共通教育科目	共通専門科目 CBIプログラム科目 教養科目 初年次科目

地域の特長理解を目的としたサービス・ツーニング及び関係者へのヒアリングを行う。本人が関心のある学生向けに、実習先を4か所準備。

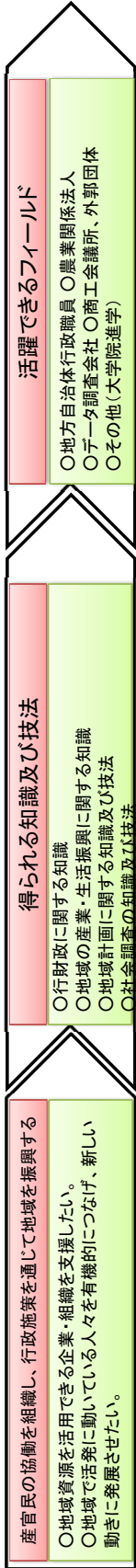
4市町村(豊和町、黒瀬町、大豊町、佐川町)において、サービス・ツーニング及び住民、役員等との意見交換を行う。

地域の個性理解を目的としたサービス・ツーニング及び関係者へのヒアリングを行う。本人が関心のある学生向けに、実習先を4か所準備。

(株)王佐レクセツップにて、高知県・佐川町の特色を理解し、販売(土産外産)する中小企業である。高知の1次産品加工業者(農産、農産加工業者)と協働して特産品の開発・販売を行っている。

大豊町が設置する「高知観光センター」であり、高知の観光振興に貢献している。本企業組織が行政及び地域住民との協働により観光開発を柱とする6次産業化を進めている。

《行政の地域協働リーダー》 能力・知識及び技法・卒業後のフィールド 【一般履修モデル】



産官民の協働を組織し、行政施策を通じて地域を振興する  
 ○地域資源を活用できる企業・組織を支援したい。  
 ○地域で活発に動いている人々を有機的につなげ、新しい動きに発展させたい。

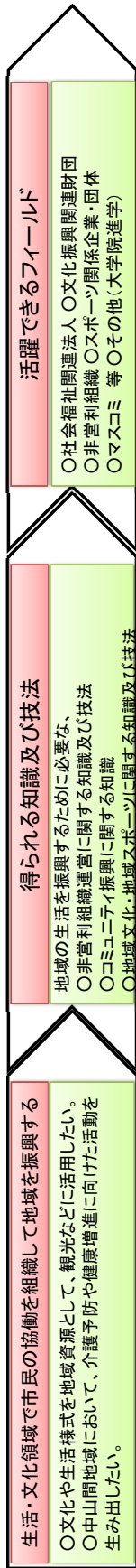
卒業要件単位数：12単位  
 専門教育科目：48単位、専門選択科目：24単位、合計：72単位以上(修得)  
 共通教育科目：12単位、教養科目：22単位、共通専門科目：18単位、合計：52単位以上(修得) (履修モデル上の必修科目を含む)

**赤字は、必修科目**

専 門 科 目	1年次				2年次				3年次				4年次		単 位 合 計		
	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期			
専 門 科 目	地域協働研究Ⅰ④	地域協働研究Ⅱ④	地域協働研究Ⅲ④	地域協働研究Ⅳ④	地域協働研究Ⅰ④	地域協働研究Ⅱ④	地域協働研究Ⅲ④	地域協働研究Ⅳ④	地域協働実践Ⅲ④	地域協働実践Ⅳ④	地域協働実践Ⅲ④	地域協働実践Ⅳ④	地域協働実践Ⅲ④	地域協働実践Ⅳ④	48単位		
	産業論②	地域組織論②	産業論②	地域協働マネジメント演習②	産業論②	地域協働マネジメント演習②	産業論②	地域協働マネジメント演習②	産業論②	地域協働マネジメント演習②	産業論②	地域協働マネジメント演習②	産業論②	地域協働マネジメント演習②			
	地域社会学概論②	地域協働論②	地域社会学概論②	地域協働論②	地域社会学概論②	地域協働論②	地域社会学概論②	地域協働論②	地域社会学概論②	地域協働論②	地域社会学概論②	地域協働論②	地域社会学概論②	地域協働論②			
	10単位	6単位	8単位	6単位	8単位	6単位	10単位	4単位	4単位	4単位	0単位	0単位	4単位	2単位			
	専門選択科目	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②	地域計画論②		24単位	
	【履修の考え方】 地域の産業、生活振興、政策に関する基本的・具体的な知識、地域主体の育成に関する基本的知識、行政に必要な基本的知識、業務的知識を修得するための科目を履修する。	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②	社会調査論②			
	共通専門科目	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②	企画立案事業計画書演習②			
	【履修の考え方】 実習に必要な基礎的技法、地域理解を深化させるための必要な技法、行政の組織を理解するための知識を修得するための科目を履修する。	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②	統計解析の基礎②			
	教養科目	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)	土佐の自由民権運動(COC科目)			18単位
	【履修の考え方】 地域の産業、生活振興、政策を遂行するために必要な教養として、環境、生活、文化、自然に関する幅広い知識を修得する内容を含む科目を履修する。	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②	現代日本の社会と政治②			
共通教育科目	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②	大学基礎論②				
【履修の考え方】 3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。	3年次第1学期までに18単位の取得を推奨。				
初年次科目	大学基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	学問基礎論②	22単位			
【履修の考え方】 初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目	初年次科目				
1学期履修単位数	8単位	22単位	20単位	22単位	20単位	22単位	20単位	22単位	20単位	22単位	20単位	22単位	20単位				
12単位	124単位	124単位	124単位	124単位	124単位	124単位	124単位	124単位	124単位	124単位	124単位	124単位	124単位				

4市町村(高知市、黒潮町、大豊町、佐川町)においてサービスマン、役場等での意見交換を行う。	地域の特性理解を目的としたサービスマンニング及び関係者へのヒアリングを行う。本人材向けに、ある学生向けに、実習先を5か所準備。	中川地区活性化協議会 行政(に深川町役場及び高知県地域支援企画員)と協働して農業資源を活かした特産品開発及び観光事業を進めている。	西川地区農業活動センター 「年金」ラース30万円の年取を基に生きがいを持つ「暮らし」を目標に、集落活動センターにおける地域の農業資源(新規開発を含む)を活かした特産品開発及び都市農村交流事業開発を、行政(香南市及び高知県地域支援企画員)との協働で進めている。
---	---	--	--

《生活・文化の地域協働リーダー》 能力・知識及び技法・卒業後のフィールド 【一般履修モデル】



卒業要件単位数:124単位  
 専門教育科目( 専門必修科目:48単位、専門選択科目:24単位、合計:72単位以上修得 )  
 共通教育科目( 初年次科目:12単位、教養科目:22単位、共通専門科目:18単位、合計:52単位以上修得 ) (履修モデル上の必修科目を含む)

専門科目	1年次			2年次			3年次			4年次			単位合計
	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	
専門必修科目	地域協働研究Ⅰ④	地域協働研究Ⅱ④	地域協働研究Ⅲ④	地域協働研究Ⅳ④	地域協働研究Ⅰ④	地域協働研究Ⅱ④	地域協働研究Ⅲ④	地域協働研究Ⅳ④	地域協働実践Ⅰ④	地域協働実践Ⅱ④	地域協働実践Ⅲ④	地域協働実践Ⅳ④	48単位
	産業論②	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	地域理解実習④	
	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	地域社会学概論②	
	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	地域協働論②	
専門選択科目	10単位	6単位	8単位	6単位	10単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	0単位	0単位	48単位
	【履修の考え方】 地域協働に関する基本的・具体的な知識・市民として地域協働を担うために必要な基本的知識を修得するための科目を中心に履修する。	非営利組織マネジメント②	地域資源管理論②	地域防災論②	地域防災論②	地域防災論②	地域防災論②	地域防災論②	地域防災論②	地域防災論②	地域防災論②	地域防災論②	
	【履修の考え方】 地域協働に関する基本的・具体的な知識・市民として地域協働を担うために必要な基本的知識を修得するための科目を中心に履修する。	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
共通専門科目	0単位	0単位	2単位	2単位	8単位	2単位	2単位	2単位	2単位	4単位	4単位	2単位	24単位
	【履修の考え方】 実習に必要となる基礎的技法・地域理解を深めさせるために必要な技法・生活を取り巻く経済・政治・文化を理解するための基礎的専門知識を中心に履修する。	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
共通教育科目	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	18単位
	【履修の考え方】 地域の生活様式を行うために必要な環境・生活・文化・自然に関する幅広い知識を修得するための科目を中心に履修する。	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
初年次科目	0単位	8単位	8単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	0単位	0単位	22単位
	【履修の考え方】 地域の生活様式を行うために必要な環境・生活・文化・自然に関する幅広い知識を修得するための科目を中心に履修する。	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	社会学概論②	
1学期履修単位数	8単位	22単位	22単位	22単位	20単位	22単位	16単位	12単位	8単位	2単位	2単位	124単位	

実習先の特徴	4市町村(高知市、黒潮町、大豊町、佐川町)においてサービスマンシップ及び関係者へのボランティアを行う。本人の興味のある学生向けに、実習先を4か所準備。
最良の履修	高齢化が進む新興住宅地において地域の環境・文化保全を回る活動を進めながらコミュニケーション振興を住民主体で行っている。

## 資料 21 教授会・学部運営会議

# 教授会及び学部運営会議の役割

